

やすらぎ通信

平成 29 年 春彼岸

発刊不定期 横浜やすらぎの郷霊園管理事務所 〒241-0802 神奈川県横浜市旭区上川井町 1749-1
☎045-924-0210 FAX:045-924-0239 URL: y-yasuraginosato.jp Eメール: info@y-yasuraginosato.jp

4月には満開の桜→↓



↑白木蓮 ↓クロッカス



事務所前の花壇。今年もきれいに咲きました。左：ランタンキュラス 右：

■花まつり



4月8日はお釈迦さまのお誕生日です。
今年も4月6日(木)～9日(日)まで花御堂を飾り、お誕生仏をお祭りします。
昨年テレビ番組(アメトーク)の、花まつりをひろめよう!!との企画で「このようにきれいに飾りつけするんですよ」と写真が紹介されました。(やすらぎのホームページに上げた写真が番組スタッフの目に留まったようです)今年もきれいに飾りつけします。是非お参りに来てくださいね。甘茶をかけてお参りします。プレゼントもありますよ。



お誕生仏
(天上天下唯我独尊)

■合同合祀慰霊祭

萬霊塔「やすらぎの塔」への合同合祀慰霊祭を執り行います。

【平成29年4月14日(金) 午前11時～】永代供養墓「善光寺やすらぎの碑」へ埋骨後、合祀時期となった御霊のご供養です。やすらぎの郷霊園に墓地所有の方で合祀ご希望の方のご相談も承ります。詳しくはお問い合わせください。

■やすらぎ寺子屋のご案内

毎月第1日曜日の午後2時から、椅子坐禅の体験と法話を行っています。
宗教・宗派は不問です。お気軽にご参加下さい!!

【4月2日(日) 5月7日(日) 6月4日(日)】

午後2時～ 1時間程 場所：やすらぎの郷霊園礼拝堂 参加費：無料

◆お彼岸



春は春分の日、秋は秋分の日をお中日としてそれぞれ前後 3 日間をお彼岸と言います。春分の日、秋分の日には太陽が真東から昇って真西に沈み昼と夜が同じ時間になる日です。丸い円を丁度、真ん中で半分に割ったように昼と夜の時間が同じになる日。

仏教では中道という教えがあります。何事もかたよらずに真ん中で物事を見ること。

お釈迦さまは、この中道をお弟子様に説く時に「琴の喩え話」をされました。つまり琴の弦を締め過ぎても緩め過ぎても良い音が奏でられないのと同様に、かたよった苦行や快樂に墮落した生活では心のやすらぎは得られない。程よい弦の張りでこそ良い音は紡ぎだせるように、かたよらない正しい修行によってこそ心のやすらぎは得られるのだと。

この中道の教えから、太陽が真東から昇り真西に沈む春分、秋分の日には仏道修行を行う習慣が始まりました。また真西に太陽が沈むことから、西方にある極楽に思いを致し亡き方の冥福を祈ってお墓参りをする習慣が始まったともいわれます。

お彼岸に仏道修行

お釈迦さまは、穏やかなやすらいだ心でゆるぎない幸せを生きる為の教えを示されました。そしてその教えの道を歩くこと（仏道修行）で、欲や煩惱にまみれた迷い悩む日々から解放され、やすらかな心が得られると説かれました。我々のいる迷いの世界をこちらの岸、此岸（しがん）。対して迷いのない世界をかなたの岸、彼岸といいます。此岸をインドの言葉では「サハー」といい、忍土（耐え忍ぶ土地）という意味があります。中国ではこの「サハー」を「娑婆」と書きました。世の中を俗に「しゃば」と呼ぶのはここからきています。対して彼岸は「パーラム」とい



西遊記で有名な玄奘三蔵法師が般若心経を訳しました

ます。渡ることを「イター」といいます。ふたつの言葉をつなげると、「パーラミター」。般若心経でいう「波羅蜜多」の事です。般若心経は「摩訶般若波羅蜜多心経」といいますが、摩訶とは「マハー」、比べようもなく大きいという意味。般若は「パンニヤー」、智慧という意味。全部つなげると「大いなる智慧で彼岸に至る心のお経」という意味になります。インドの言葉で語られたお釈迦さま

の教えを漢字に訳す時に、音写（おんしゃ）と云って音の響きに漢字をあてたので少し難しく感じるかもしれませんね。智慧をもち仏

道を実践することで、煩惱に迷うこの岸から迷いのない悟りの岸へ渡ることが出来る。そしてこのお彼岸は特に意識して仏道修行をする期間。迷いの素となる煩惱・欲望は、自分を中心に物事を判断することから生じる苦しみ。この煩惱・欲望をコントロールし迷いなく生きていく為には利他の心をおこし育む事が大切です。利他とは他を利する行為。お彼岸の間、人の為になんか出来るかを考え実行してみませんか？身近な事でいいのです。気持ちのよく挨拶をすることや優しい言葉をかけること、席を譲ること、ゴミを拾うこと・・・etc。

見返りを求めずに周りの人に対して行うこと。きっと気持ちよい毎日が送れますよ。

◆善光寺ニュース

新年祈祷会と節分会の報告

本年も1月9日に新年祈祷会、2月3日に節分法会がそれぞれ善光寺釈迦殿にて行われました。ご祈祷終了後には、新年祈祷会で獅子舞と和太鼓が、節分法会で幫間芸と和太鼓がそれぞれ奉納演芸として披露されました。各会共、300名を超える方々がご参詣下さり賑やかな法会となりました。「目で行われた和太鼓の迫力に元気を、獅子舞や幫間芸に笑顔をもらい嬉しい年明けでした」と好評頂きました。



大般若転読による節分祈祷



川島囃子保存会による獅子舞



悠玄亭玉八師匠による幫間芸



大元組による和太鼓

■お盆供養についてのご案内

- 初盆供養 6月23日(金) 午前11時～
 - 盂蘭盆施食法会 6月24日(土) 午前11時～・午後2時～
- 於 善光寺釈迦殿

※法要後やすらぎの郷霊園へ墓参用バスが出発します。霊園からは三ツ境駅にお送りします。

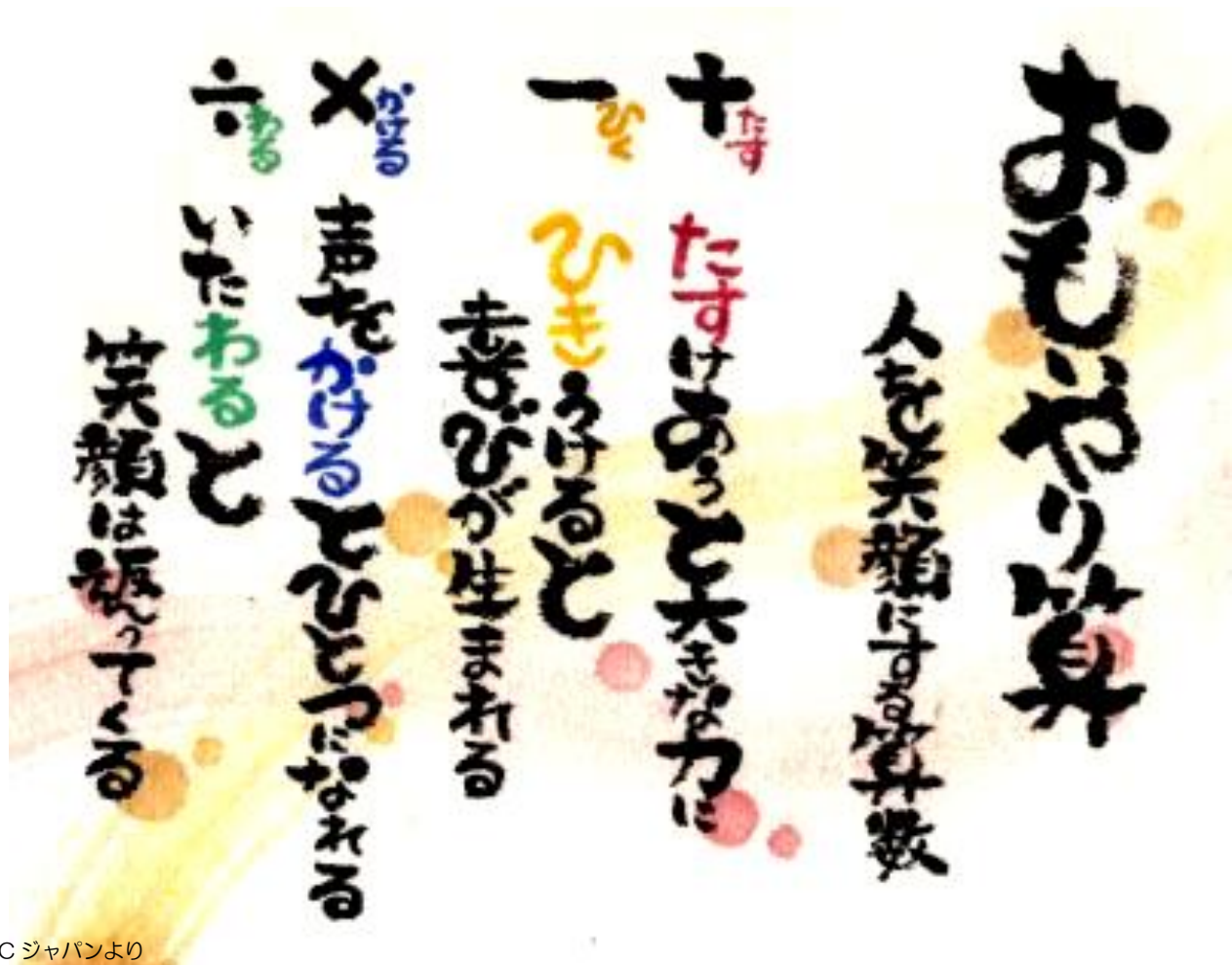
◎案内ご希望の方はやすらぎの郷霊園管理事務所又は善光寺へご連絡下さい。

■ごえいか御詠歌教室のご案内

今年より月に1度、御詠歌教室を開催しております。講師の先生が丁寧に指導して下さいます。梅花流御詠歌の歌詞から仏教の勉強も出来ます。何よりみんなで声を出して仏さまの教えをお唱えすることはとても気持ちよいですよ。みんな初心者ですから安心してご参加下さい。

講師 曹洞宗梅花流特派師範 渡邊清徳老師（栃木県高德寺副住職）

予定 4月7日(金) 5月11日(木) 各回：午後2時～



AC ジャパンより

「こころ」は

だれにも見えないけれど

「こころづかい」は見える

「思い」は

見えないけれど

「思いやり」は

だれにでも見える

行為の意味 宮澤 章二

あなたの「こころ」はどんな形ですか

と ひとに聞かれても答えようがない

自分にも他人にも「こころ」は見えない

けれど ほんとうに見えないのであろうか

確かに「こころ」はだれにも見えない

けれど「こころづかい」は見えるのだ

それは 人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の「思い」は見えない

けれど「思いやり」はだれにでも見える

それも人に対する積極的な行為だから

あたたかい心が あたたかい行為になり

やさしい思いが やさしい行為になるとき

「心」も「思い」も 初めて美しく生きる

それは 人が人として生きることだ

編集後記

◆「こころは見えないけれど…」東日本大震災当時、AC ジャパンの CM がテレビで繰り返し流されていました。そのCMに使われていた言葉のもとになった詩が宮澤章二さんの「行為の意味」。(やすらぎ通信 21 号で紹介) 今年是被災され亡くなられた方々の七回忌追悼法要が各地で営まれ大勢の方々が哀悼の誠を捧げられました。

「人が人として生きること」、それぞれに出来る事を身近な相手に対して行為にうつしていく。優しいこころの輪がさらに広がりますように…。

合掌

